

ボランティア企画の実施報告書(本学主催のみ)

企画名称 (講演タイトル)	東洋大学ボランティア WEEK 「企業における人権への取組」
講師	秋山映美氏(株式会社クレアン)
開催期間・日時	2020年12月1日(火) 9:00~10:30
会 場	東洋大学 川越キャンパス 2107 教室 Webex 及び YouTube ライブを用いた配信
目 的	企業の社会的責任(CSR)の一環で、人権への取組についての基本的な考え方と具体例を学ぶことで、人権への理解を深めること。
参加者数	64名 ※主な内訳は、以下の通り。 【内訳】総合情報学部「CSR論」履修者59名、一般学生5名
協 力	総合情報学部の専門科目「CSR論」(担当:小瀬博之先生)と連携して実施
活動内容(概要)	
<p>「企業における人権への取組」というテーマで、株式会社クレアンの秋山映美氏にご講演いただいた。</p> <p>最初に「人権とは」というテーマで、人口問題や地球温暖化問題、水問題などの社会及び環境問題を取り上げながら、これらにも深くする人権課題をグローバルに取り上げ、日本の人権と世界の人権に対する認識の違いを明らかにした。さらにSDGs(持続可能な開発目標)のベースに人権があることを取り上げ、人権の重要性を説いた。</p> <p>次に「ビジネスと人権に関する社会動向」として、企業における人権尊重の責任を取り上げ、企画・設計から使用までのバリューチェーンにおける人権の関わりについて説明した。また、森林伐採や化学物質流出などによる汚染、児童労働や劣悪な労働環境、ダイバーシティ(多様性)推進の阻害となる無意識の偏見による人権侵害の発生、外国人技能実習生制度の構造的な人権侵害など、企業活動がさまざまな人権に影響を与えていることを説いた。</p> <p>最後に、「企業の取り組み」として、日本企業によるトラブル事例を取り上げるとともに、国連による「ビジネスと人権に関する指導原則」や各国での法制化の動き、投資機関による人権問題を理由とした投資引上げ、企業の人権への取り組み評価の状況、外国企業や経団連の動向について説明した。また、結論として企業が人権問題を「引き起こさないこと」「加担しないこと」を問いた。</p> <p>講師がオンライン上で講演される状況で、教室での受講も5名にとどまる中で、responを活用しながら双方向のやり取りがなされるように工夫しながら進めていただいた。学生からは人権問題を具体的に、また詳しく知ることができた、企業の対応の難しさがよくわかったなどの好意的な感想が多くあげられた。</p>	

ボランティア企画の実施報告書(本学主催のみ)

※写真があれば数枚を添付。但し、HP や広報誌に掲載する場合があるため、被写体の了解を得るなど、掲載可能な写真を提出してください。

